

第1回 日本災害医療ロジスティック研修

チームHOYA



海鞘(ホヤ)

リーダー



水野 光規

サブリーダー



富中

EMIS/メール



山本

アセスシート



高山

通信



清水

通信



北

クロノロ



久保田

サポート

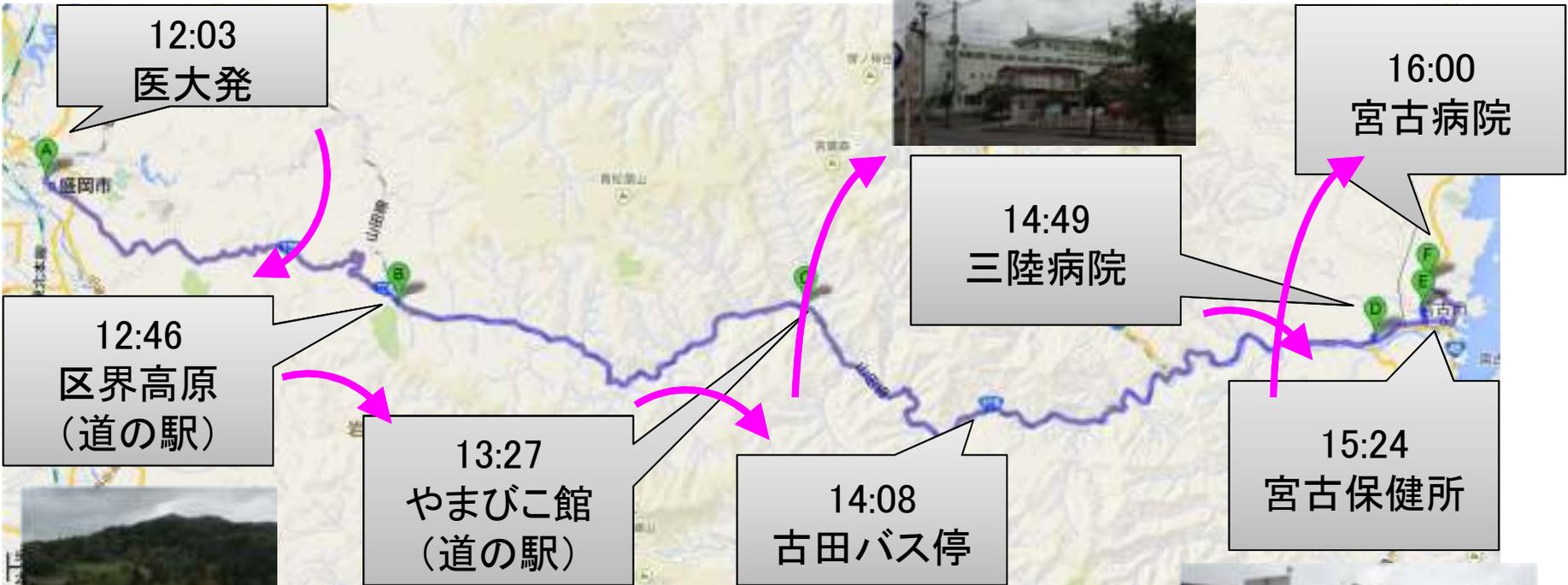


野地

チームHOYAのミッション

- 被災地（県立宮古病院）の状況把握
 - 盛岡市内から宮古市街までの経路の把握
 - 道路の状況、ガススタンド、店舗
 - 宮古周辺の状況把握
 - 周辺病院の状況、被災範囲
 - 地域拠点（宮古保健所）での情報収集
 - 電気、ガス、水道、電話など
 - 県立宮古病院でのロジ
 - 通信の確立（衛星電話、IP電話）
 - 被災状況の把握と地域拠点（保健所）への連絡
 - 派遣先でのロジスティック本部の立ち上げ

岩手医大から宮古病院への移動経路

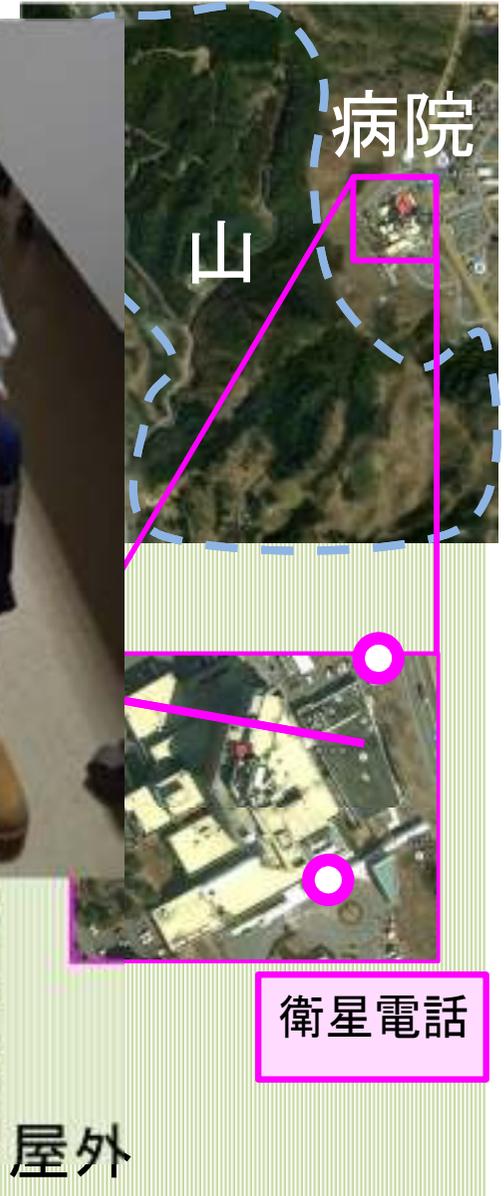


県立宮古病院の被災状況等

10月15日16時(発災3日目)

- 病床数 277床(満床)
- 傷病者多数
- ヘリポートあり(病院から300m程度、坂あり)
- 電気あり(自家発電9日分)
- ガスあり(プロパン)
- 水あり(市内ポンプ故障、給水車で対応)
- 食料あり(患者用3日分)
- 医療用ガスあり
- 災害用電話 不通
- 防災無線 不通
- 衛星通信 不通

宮古病院ロジ本部レイアウト



県立宮古病院の医療支援状況等

- DMAT2チーム(中央病院,岩手医科大学)が活動中
 - 連携できず
- 医療スタッフの交代要員不足
 - 保健所に人員要請
- 徒歩可能な地域透析患者20名の対応
 - 10名は周辺診療所で対応可能(県庁より)
- 挿管患者5名の対応
 - 搬送できず
- 周産期の方
 - 院内にて出産
- 満床状態の改善
 - 空ベッド確保のため、保健所に搬送要請、搬送できず

予期せぬ問題点

※通信手段(衛星電話)

なにが問題か？

保健所チームへの定時連絡(毎時30分)のたびに車両を停止させる必要があり、通信に適切、かつ危険のない場所を確保することが道路状況によっては困難であり、そのため現地到着が遅れた。

どのようにすればよいか？

今回はワイドスターを貸借したが、定時連絡には移動しながら連絡が取れるイリジウムも1台確保すべきであった。

予期せぬ問題点

※通信手段(衛星電話)

なにが問題か？

宮古保健所への定時連絡が特に夜間に近づくにつれ、不通となった。また、宮古病院の南側に山があり、かつ本部が地下に設置されたため、衛星電話の設置場所が屋外に限られた。そのため、連絡専用要員1名と無線機が専有された。

どのようにすればよいか？

通信機器を複数台持つべきであった。外部アンテナを延長できる機器を持ってくれば、人員を割かれることもなく、屋内で外部との情報共有が完結することができる。

予期せぬ問題点

※チーム内人員配置

なにが問題か？

出発前のMTG時の役割分担から、現地入り後の活動に必要な役割の再配備をしなかったため、分担の再配備をするまで効率的な活動ができなかった。

どのようにすればよいか？

到着後に、必要な業務、参加人数に合わせた業務の配置、個々人のパーソナリティの把握、各自の特性にあった役割分担が必要であった。

予期せぬ問題点

※通信手段(衛星電話)

なにが問題か？

情報収集した周辺病院、あるいは避難所へのフォローを考慮していなかった。

どのようにすればよいか？

訪問時に代表者の連絡先を聞く。また、余剰通信機器が本部にあれば追加で貸借すべきであった。さらに、保健所への連絡の際に、情報収集した病院、避難所の再訪問と情報提供を2次隊に申し送りをしてもらうべきであった。

予期せぬ問題点

※医療グループとの連携

なにが問題か？

現地入り後、同行した医師、看護師との連携ができなかった。また、現地で先行して活動していたDMATの2グループとの連携もできなかった。

どのようにすればよいか？

本番であれば本部に彼らが来ない、また情報も入らないということは無いと考えられるが、ロジとしては定期的に同行医師、看護師の状況を把握すべきであった。また、DMATとの連携も積極的に行うべきであった。

「まとめ」と「反省点」

- 情報は最重要リソースなので、通信手段は複数台、複数種確保すべきであった。
- 現地入り後、すぐのMTGと役割分担の再配置をすべきであった。
- 派遣先においての内部での連絡と情報収集を積極的に行い、派遣メンバー各々の動向も把握すべきであった。

認識できた最重要ポイント

正しい／必要十分な

情報

機器／手段

収集／提供／共有／連絡／経路

水野リーダーからのまとめの言葉

訓練は本番のように、本番は訓練のように。

訓練における最大の失敗は、失敗しないことかもしれません。実践的な訓練を企画し、私達の失敗を温かく見守り、そして課題に気づかせてくださったことは大きな成果となりました。

コントローラー、各機関関係者様、そしてチームメンバー、皆様のご尽力に感謝いたします。

以下予備

予期せぬ問題点



なにが問題か？

どのようにすればよいか？

予期せぬ問題点

※本部設置（侵入場所と本部設置場所）

なにが問題か？

車両を止めた場所と本部設置場所の距離があり、物資の移動に時間がかかった。

どのようにすればよいか？

本部設置場所決定後に適切な場所への車両の移動、あるいは台車などの輸送方法を確保する。

謝辞

- 岩手医科大学
 - 遠藤教授、小林医学部長、小川理事長
- 県庁、病院、保健所、花巻空港、大槌高校の方々
- 日本災害医療ロジスティックス協会他、後援の皆さん
- コントローラーの皆さん
- 協賛企業
- チームHOYA
 - 水野さん、富中さん、野地さん、山本さん、高山さん、久保田さん、北さん